

各位

2021年3月19日
公益財団法人 日本英語検定協会
株式会社教育測定研究所

4 技能型アカデミック英語能力判定試験

TEAP CBT

2021年度の実施概要のお知らせ

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下「英検協会」）は、4技能型アカデミック英語能力判定試験「TEAP CBT (Computer-Based Test)」の2021年度の実施概要を以下、お知らせ申し上げます。

また、受験者様が TEAP CBT をより受験いただきやすいよう、試験時間の短縮と、それに伴う一部タスクの変更を行わせていただきます。こちらにつきましても、以下に記載いたしますので、併せてご覧いただけますようお願い申し上げます。

■ 2021年度 TEAP CBT 実施概要

試験日程	第1回	2021年 6月 6日 (日)
	第2回	2021年 8月 22日 (日)
	第3回	2021年 10月 24日 (日)
試験開催都市	全国 13 都道府県で実施 北海道／宮城／埼玉／千葉／東京／神奈川／長野／愛知／ 京都／大阪／兵庫／広島／福岡	
昨年度との変更点	<ul style="list-style-type: none"> 試験時間の短縮、およびタスク変更 テスト品質はそのままに、4技能型試験をより受けやすくなります。	

実施概要の詳細につきましては、TEAP CBT ウェブサイト (<https://www.eiken.or.jp/teap/cbt/>) にてご案内いたします。

今後、試験日程の追加や設置会場の拡大等を行う場合は、順次ご案内いたします。

■ 2021年度からの変更点

① 試験時間の短縮

2021年度より実施される TEAP CBT は、下表の通り、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングのそれぞれの形式において問題数が少なくなり、試験時間が短くなります。その結果、全体の試験時間が 30 分短縮され、現在の 200 分から 170 分になります。テスト品質はそのままに、4技能型試験をより受けやすくなります。

TEAP CBT 問題構成

形式	問題数		試験時間		配点	解答方式	評価方法
	旧	新	旧	新			
リーディング	50問	⇒ 44問	約80分	⇒ 約65分	200点	コンピューターによる択一選択方式	コンピューターによる自動採点
リスニング	36問	⇒ 35問	約40分	⇒ 約35分	200点	コンピューターによる択一選択方式	
ライティング	5問	⇒ 4問	約50分	⇒ 約45分	200点	コンピューターの解答エリアへのタイピング	認定された採点者による採点
スピーキング	8問	⇒ 5問	約30分	⇒ 約25分	200点	録音形式	
合計	99問	⇒ 88問	約200分	⇒ 約170分	800点		

このたびの問題数および試験時間の変更の前後でテストの信頼性はこれまでと同じく確保され、受験者の英語運用能力を高い精度で測定いたします。※1

※1：今回の試験時間短縮及びタスク変更においては、事前に行った予備テスト及び本試験データをもとに、スコアやタスク間に関する検証を行い、短縮及び変更前後での信頼性係数、問題難易度、受験者能力値の差異が大きなものではないことを確認いたしました。

② タスク変更

試験時間を短縮するため、また大問間での出題形式を統一することでより受験しやすくするため、現行のタスクを以下の a. b. c. の通り、変更いたします。

- a. リスニングテスト：質問文の提示方法を文字提示に統一
- b. リスニングテスト：会話イメージイラストを削除

The screenshot shows the 'Listening Section' interface for 'Task 1/2'. The timer is at 00:13. The task progress bar shows 'Situation' and 'Listening'. The situation text is: 'A secretary in the Registrar's Office is talking about obtaining transcripts.' Below this is an illustration of a secretary at a desk. A red box highlights the illustration with the text '会話イメージイラストを削除'. The question is: 'According to the secretary, what should a student do to obtain an unofficial transcript?'. The options are: 1. Fill out a form on the university website. 2. Apply directly at the Registrar's Office. 3. Print a copy from the university website. 4. Mail their application to the Registrar's Office.

c. スピーキングテスト：Part4 のタスクの統合 (新形式の問題 1 問に変更)

スピーキングテストの Part4 では、これまでの「①講義を要約する」「②講義の内容に関して自分の考えを述べる」、といった二つのタスクに問題を分けていましたが、このたび、新形式の問題 1 問に統合し、資料を読み、クラスメイトの発表練習を聞いて、アドバイスをする統合型問題とすることで、実践的な英語運用能力を測定します。



The screenshot shows the 'Speaking Section' interface for 'Task'. The timer is at 01:10. The task progress bar shows 'Reading', 'Listening', 'Preparation', and 'Speaking'. The situation text is: 'You read a text about deforestation and gorillas. Then, you listen to your classmate practice their presentation about the same topic.' The instructions are: 'Based on the text you read, tell your classmate what information to add to their presentation to improve it. You will not see this page when you answer.' Below this is a text box containing a passage about gorillas. A red box highlights the task progress bar and the text box, with the text 'タスクの統合'.

リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの各テストの Part 別問題数、および出題形式や出題のねらいにつきましては、TEAP CBT サイトでご確認いただけます。 <https://www.eiken.or.jp/teap/cbt/construct/>

最後に、これまで TEAP CBT は英検協会と学校法人上智学院が株式会社教育測定研究所（以下、測定研）の協力のもとで開発し、英検協会が主体となり実施してまいりましたが、2021 年度より英検協会と測定研の共同運営のもと、主に測定研が実施運営を担い、英検協会がスコア認定を担うことといたします。

測定研は全国に英検 S-CBT や TEAP CBT なども実施しているテストセンターを配置し、CBT の実施運営にも豊富な経験を有しています。このたびの英検協会と測定研の役割の変更により、今後 TEAP CBT の実施エリアの拡大や、実施運営品質のさらなる向上を見込むことができ、受験者様の利便性をさらに向上させる足掛かりとしてまいります。

その他、試験の実施方法、試験の性質や難易度、スコアの認定基準、検定料等に特段の変更はございません。なお、これまでに TEAP CBT の受験をいただいた受験者様の個人情報引き続き英検協会が保有・管理いたします。今回の変更によって共同運営先と共有されることはございません。

今後とも大学入試に活用できる 4 技能試験として TEAP CBT をご活用いただきますよう宜しくお願いいたします。

以上、英検協会では、今後とも、全国の多くの大学様に幅広くご活用いただけるよう、TEAP CBT のサービス向上に努め、受験者様にとりましての利便性も追求してまいります。